

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよとどか言っているのか?)	旧資料No		
105	B07013136	10	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24	昼夜	2007/2/25	4:00	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 インフルエンザに対して、本剤57mg/回を投与開始。昼・夜に服用。 2007/2/25 (4:00)普段している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、 セコムが反応したため外に飛び出すことはなかった。			
106	B07013247	10	年	男性	異常行動	2007/5/1 2007/5/2		2007/5/2	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/5/1 基礎疾患があるため入院にて本剤の投与を開始。 2007/5/2 朝、本剤2回目服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け 込み失禁した(この時点では解熱していた)。本剤の投与は中止。その後は正常 となり退院。			
107	B07013255	10	年	男性	異常行動	2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25	午前 夕 夕 夕 夕 夕	2007/1/23	夕	○	-	-	Yes	発熱持続	-	No	No	No	2006/1/23 (午前)高熱のため受診。本剤、桂麻各半湯エキス細粒他処方。イン フルエンザ発症時体温:39°C。インフルエンザA型治療のため本剤投与開始。 (60mg×2/日 ~1/25)。(午後)再度受診し、午前の桂麻各半湯の服用をやめる よう指示し、ナウゼリン、黄耆建中湯を処方。(夕刻)本剤服用。患者は一度睡眠 に入るが、突然立ち上がり家の中を飛び跳ねる。上を指差しながら外に逃げた がる。両親は不在であったが、祖父母が面倒を見ており、二人で外に出るのを 止める。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、大きな家の中を 飛び跳ねたり走ったりする。異常行動(非重篤)発現。しばらくこの症状は続いた が、落ち着きをと戻し、再び睡眠。 2007/1/24 熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。 2006/1/25 体温:36.7°C 熱が下がったと薬局に来られる。 2006/1/27 インフルエンザ軽快・回復。 2006 異常行動回復。			
108	B07013386	10	年	女性	異常行動	2007/3/8 2007/3/9 2007/3/10	12:00	2007/3/8	16:30	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/8 (12:00) インフルエンザで来院。本剤を処方され、帰宅し服用。 (16:30) 突然靴下を履き暴れて外に飛び出した。母親が押え付け、何事にもな らなかった。異常行動は回復。			
109	B05023595	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2006/1/23	17:30	2006/1/23	18:00	×	No服用後寝 る前	-	1時間	No	-	No	-	No	2006/01/22 (15:00)発熱。 2006/01/23 (16:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフ ル4g(分2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タ ミフル内服(60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって逃げる。 「お母さん」と叫ぶ。「怖い、怖い」と泣く。(19:00頃)改善。(19:20)当院電話連絡 あり。 2006/01/26 (10:00)来院。インフルエンザ治療。及び幻覚症状消失を確認。 2006/2/10 A医院にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少しうつろ感を 伴う全身倦怠感の強い。タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg 内服。 2006/2/11 (0:40)異常行動発現。団地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急 搬送。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。 2006/2/15 (13:30)大腿骨手術目的にてC病院へ転院。転院時には異常行動回 復。 不明 両大腿骨骨折に対して、転院後手術実施。 2006/5/31 退院。両大腿骨骨折は軽快。外来にてフォロー中。	異-1-49		
110	B05024102	11	年	男性	異常行動	2006/2/10	夕方	2006/2/11	0:40	-	Yes 覚醒はして いない。譫 妄状態。	-	1.5時間	-	発熱持続	No	Yes	No	No	2006/01/22 (15:00)発熱。 2006/01/23 (16:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフ ル4g(分2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タ ミフル内服(60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって逃げる。 「お母さん」と叫ぶ。「怖い、怖い」と泣く。(19:00頃)改善。(19:20)当院電話連絡 あり。 2006/01/26 (10:00)来院。インフルエンザ治療。及び幻覚症状消失を確認。 2006/2/10 A医院にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少しうつろ感を 伴う全身倦怠感の強い。タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg 内服。 2006/2/11 (0:40)異常行動発現。団地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急 搬送。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。 2006/2/15 (13:30)大腿骨手術目的にてC病院へ転院。転院時には異常行動回 復。 不明 両大腿骨骨折に対して、転院後手術実施。 2006/5/31 退院。両大腿骨骨折は軽快。外来にてフォロー中。 睡眠から覚醒していたわけではなく、目は覚めていたが、せん妄状態とも考えら れる。	幼少時に軽度の 夢遊病あり	異-1-55
111	B06024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/19	20:30	2007/2/20	6:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	-	No	Yes	No	2007/2/19 朝、妹がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフル エンザだろうと思いい妹に処方されたタミフル72mg×1/日を飲ませた。(21:00)夜、 突然40°C台の発熱が起こった。 2007/2/20 (6:30)服用後約10時間経過した朝、就寝中突然起き上がり徘徊を はじめた。訳のわからない事をさげ走りだしたので、母親が制止しようとした が、おさえきれず父親を呼び2人がかりでおさえ込んだ。(6:35)正気を取り戻し た。(10:00)当院受診。インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療の為、 本剤72mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの転帰:回復	睡眠時覚醒症等	異-1-100	
112	B06025190	11	年	男性	①異常行動 ②幻聴	2007/2/18 2007/2/19	夜 朝	2007/2/19	①午後 ②午後	①○ ②-	①Yes ②-	-	①10分 ②-	Yes	-	Yes	No	No	①ヤクザみたいな人が入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。田ん ぼを徘徊、その後しばらく側溝に隠れていた。 ③逃げるという声が聞こえた、と本人が訴えた。 ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を 握りしめた。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫 合した。	異-1-108		
113	B06026130	11	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/02/10	21:00	2007/02/11	0:20	-	No	-	6時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	2007/02/10 激越、異常行動発現。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を 握りしめた。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫 合した。	異-2-2		
114	B06026540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6	18:00 8:00 19:00	2007/2/7	2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	2007/2/05 インフルエンザB型と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開 始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。 (21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を言って起き上がり、トイレに行った後、 「フツツツ」言いながらベランダや玄関の敷居のドアを開け、外へ出ようとした。 母親が必死に止めるが力づくで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその 度全力で止めた。(4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(9:00)起床。 熱が下がりがり何事もなかったように回復。目がさめたが、異常行動については、全 く覚えていなかった。異常行動回復。 2007/2/10 インフルエンザ:軽快	不明	異-2-6	
115	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/23 2007/2/24	夕 朝 夕 朝 夕 夕	2007/2/24	19:00	×	No	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	2007/2/21 ポララミン2mg×3/日の投与開始(~3/24)。(夕)インフルエンザA治 療の為、タミフル75mg×1/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝。 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおそかったため朝 の分)。(18:30)玄関から外に出ようとしているのに父が気づき、もう暗いので外出 するのはやめなさいと言ったところ居間に戻った。特に異常さは感じなかった が、後から考えるとおかしい行動だった。(19:00)異常行動による転落発現(非重 篤)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐにドンツと音 がしたので見るとベランダの下の上の土の上で、ボーッとしていた。家に戻ると うながして一緒に入り、30分後にはもうボーッとした感じではなくなった。意識は はっきりしていた。どうして落ちたのか聞いてもわからないと答えていた。外傷は ごく軽い打ち込みのみなので特に手当てはなかった。	異-2-14		